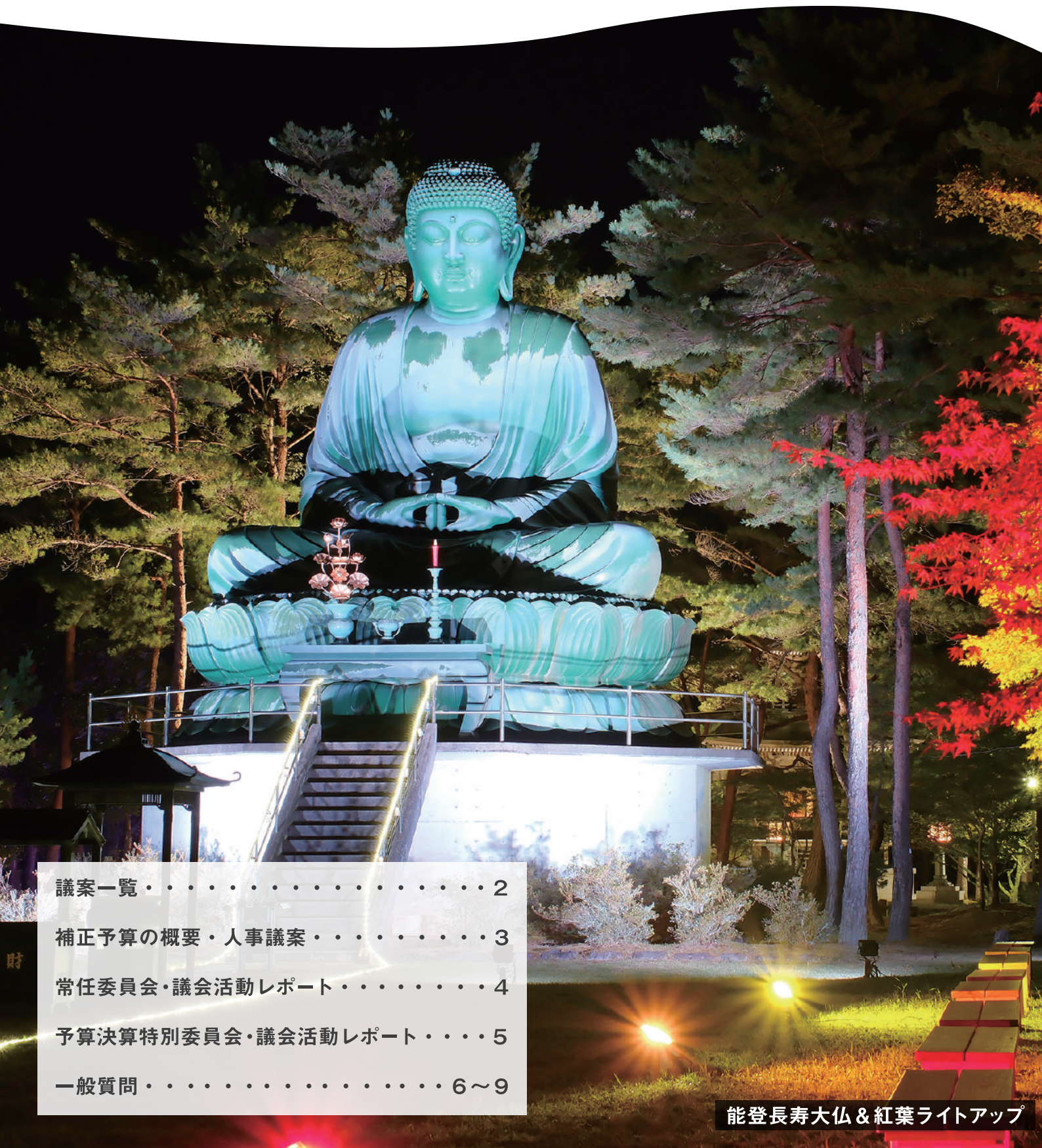


あなみず 議会だより

2023 vol. **46**

令和5年11月1日発行
石川県穴水町議会



議案一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	2
補正予算の概要・人事議案・・・・・・・・	3
常任委員会・議会活動レポート・・・・・・・・	4
予算決算特別委員会・議会活動レポート・・・・・・	5
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・	6～9

能登長寿大仏 & 紅葉ライトアップ



令和5年第4回穴水町議会9月定例会 議案一覧



会期：令和5年9月1日～9月15日

番 号	件 名	可 否	摘 要
議案第 35号	穴水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全員賛成
議案第 36号	穴水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	
議案第 37号	穴水町教育委員会教育長の任命について	原案同意	
議案第 38号	穴水町教育委員会委員の任命について	原案同意	
議案第 39号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	
議案第 40号	令和5年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 41号	令和5年度穴水町病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 42号	令和5年度穴水町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第 43号	穴水町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 44号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第 45号	令和4年度穴水町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 46号	令和4年度穴水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 47号	令和4年度穴水町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 48号	令和4年度穴水町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 49号	令和4年度穴水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 50号	令和4年度穴水町病院事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
議案第 51号	令和4年度穴水町水道事業会計歳入歳出決算認定について	原案認定	
報告第 14号	石川県市町村職員退職手当組合理約の一部を改正する規約の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
選挙第 6号	穴水町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について		
発議第 5号	穴水町議会議員の請負の状況の公表に関する条例について	原案可決	全員賛成
議会報告第4号	健全化判断比率及び資金不足比率報告書について		
議会報告第5号	例月出納検査の結果報告について		
議会報告第6号	令和4年度（一財）穴水町文化・スポーツ振興事業団事業報告及び収入支出決算書の報告について		



補正予算の概要【令和5年度9月補正】



会 計		予 算 額	9 月 補 正 額
一	般 会 計	70 億 7,710 万円	3,826 万円
特別会計	国 民 健 康 保 険	10 億 6,535 万円	218 万円
	公 共 下 水 道	3 億 9,978 万円	—
	介 護 保 険	16 億 1,364 万円	—
	後 期 高 齢 者 医 療	1 億 7,770 万円	—
企業会計	病 院 事 業	30 億 1,872 万円	911 万円
	水 道 事 業	4 億 3,018 万円	1,752 万円
合 計		137 億 8,247 万円	6,707 万円

○保育所等施設改修事業費補助金 1,071 万円

神杉保育園の老朽化に伴う大規模改修工事に対する補助
補助率：国 1/2、町 1/4

○穴水湯ったり館の機械設備取替工事 459 万円

経年劣化による水風呂ろ過機等取替工事

○チャレンジショップ事業の展開に 向けた収集調査事業 550 万円

中心商店街の空き店舗等を活用した多面的型チャレンジ
ショップの整備に向けたデータ収集・調査に係る経費

○耐震性貯水槽整備事業 274 万円

設計変更等による増額
設置箇所：伊久留(集会所付近)、中居(神杉神社付近)、
大町(竜山寺入口)

○保育士修学資金貸付事業(奥能登特別枠) 60 万円

保育士資格の取得を目指す学生に対し修学資金を貸与
貸与額：5 万円 / 月 (国の制度への上乗せ)
※奥能登の保育施設で3年間勤務すると返還免除

○サテライトオフィス誘致事業 649 万円

地方進出を検討するイベントへの参加や、企業への個
別訪問、視察受入等に係る経費

○可搬式小型動力ポンプ整備事業 124 万円

火災の初期消火に使用するため、人力で搬送できる機
器を配置
配置先：鹿波分団

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員

熊野 信一氏(甲) 再任
中平 裕氏(川島) 新任

○教育長

大間 順子氏(古君) 再任

○教育委員会委員

小豆 竹志氏(曾山) 新任

○選挙管理委員会委員

高宮佐和夫氏(中居) 再任
室木 芳樹氏(曾良) 再任
樽 敏文氏(沖波) 再任
神平 浩氏(大町) 新任

○選挙管理委員会委員補充員

山下 健氏(山中) 再任
勝井 寛氏(梶) 再任
森本 涉氏(大町) 再任
川端 康秀氏(前波) 新任

令和5年9月
定例会

常任委員会の活動



常任委員会とは

議案・請願・陳情を詳しく審査するため、法律に基づいて設置される委員会で、穴水町には産業や税、施設等を扱う「総務産業建設常任委員会」と教育や福祉などを中心に扱う「教育民生常任委員会」の2つがあります。

総務産業建設常任委員会 ～主要要望・指摘事項～

委員：浜崎・小谷・山本・大中・小泉

デジタル田園都市国家構想交付金の活用について

目標達成のため十分な協議・検討を重ね、当町の賑わいのために誰もがチャレンジできる環境を整備し、活躍できる町であることを発信し、定住人口の拡大に繋げて欲しい

教育民生常任委員会 ～主要要望・指摘事項～

委員：小坂・宮本・佐藤・湯口・伊藤

補助事業の実施に向けて

補助金を活用し事業を行う場合は、申請者と十分な協議を重ね、事業を遂行するよう努めること

保育施設での改修工事について

大規模な改修工事が行われるが、園児を受入れた状態での工事である。十分な目配りをし、園児にケガのないよう配慮すること

新年度事業の実施について

事業実施にあたっては、検証を十分に行之、継続・廃止の判断を慎重に行うこと

言葉の虐待について

児童虐待が深刻化し問題となっているが、身体的な虐待の他に心理的虐待「言葉の虐待」が頻繁に起こりうる事が予想される。言葉遣いには十分配慮し子供達に接する様、助言すること

保育士修学資金貸付事業について

保育士確保のため、県において奥能登特別枠での事業が実施された。保育士不足の解消に繋がるよう事業の周知を行って欲しい



議会活動レポート (行政視察受け入れ)



8月24日、徳島県北島議会が行政視察に訪れ、今年度から始まっている住民福祉課の窓口での一部申請書類に情報が印字されている「書かない窓口」、町HPからマイナポータルサイトを活用し、住民票の移動手続き等ができる「行かない窓口」について視察を受けました。

活発な質問が寄せられ、今後の窓口事務のデジタル化の推進に繋がる意見交換となりました。



予算決算特別委員会

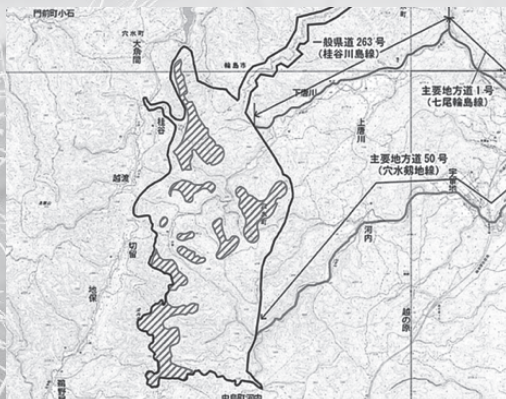
委員：全議員

- ◎ 事業費確保のため基金の活用について質問があり、基本的には有利な地方債を充当し事業を行うとのこと
- ◎ 固定資産税の納税者が相続等により町外在住者となる割合が多くなることが今後予想されるが、税の公平性を重視し徴収に取り組むこと
- ◎ 穴水湾一帯の能登半島国定公園の森林環境について、適正な維持管理を関係機関と協議し行うこと
- ◎ 保育士を確保するため処遇改善や補助事業を行っているが、保育園の在り方を検討する時期に来ているのではないか
- ◎ 都市公園の遊具の整備は進められているが、それ以外の地区の公園では老朽化に伴う撤去が進められ、新たな遊具の設置には至っていない。地区と相談し検討すること
- ◎ 市街地循環バス運行事業や外出支援バス運行事業など町内を回るバスが運行されているが、地区によって利便性の格差が生じないように運行計画を検討すること
- ◎ 水道管路の経年化率は年々上昇していると思うが、町民には「安心で安全な水を届ける水道」として計画的な更新をはかること
- ◎ 物価高騰等により全てにおいて施設の維持管理費の増加がうかがえる。安定した経営の維持をはかること

議会活動レポート (風力発電施設建設を考える)



9月15日と25日、町内で建設が予定されている風力発電施設について陳情・要望書を提出した下唐川区長、穴水町の風力発電を考える会会員との意見交換を行いました。山の形状の変化や木の



伐採による水道の水源への影響、低周波による人体への不安等が述べられました。今後、議会でも執行部等から情報収集を行い慎重に動向を見極めて行きます。



湯口 かをる議員

町の史跡文化を後世に残す方策を

中瀬観光交流課長 観光資源でも文化財を町の財産として継いでいく



災害時の個別避難計画の
取り組み状況について

問 個別避難計画作成への取り組み状況は

答 県からの助言を得ながら関係機関を交えて計画策定の打ち合わせを行った。今後は、モデル地区を選定し地域の意向を聞きながら計画策定を進めていく
(荒木環境安全課長)

安全な道路と歩道の整備について

問 安全な道路と歩道の整備についてはどうか

答 平成26年12月に「六水町通学路連絡協議会」を組織化し、協議会メンバーと現地確認の上、関係機関へ改善要望を行い、児童生徒の通学路の安全確保に努めている。
今後は、七海第一トンネル出入口付近の電光掲示板の修理、道路面の表示文字の引き直し、路側帯に堆積した草木の除去など維持管理を含め、未着手箇所を重点要望事項として県へ要望していく
(金谷地域整備課長)

町の歴史文化を観光に活かす
方策について

問 町の歴史的建造物や史跡に案内看板の設置と環境の整備を

答 史跡や歴史的建造物の案内は、その由縁や言葉等の記述標記が必要であり、文責を含めて整備しなければならぬと考えている。
また、周辺の景観や、そのエリアに個人所有地が含まれる場合でも、個人所有物の建設について何らかの調整が必要だと考える。
町として、歴史的建造物や史跡の潜在的な観光要素をブラッシュアップしていく
(中瀬観光交流課長)



問 国民文化祭を契機に町の史跡文化を後世に残す方策を

答 本年において、「ふるさとと縁の偉人漫画」で「長連龍公」が題材として選定されており、今後様々な方策で町の偉人として紹介していく。このような町の歴史を巡る・文化財を知るきっかけとなる取組を通じ、町民や後世の人々に、観光資源でも文化財を町の財産として継いでいく
(中瀬観光交流課長)

宿泊観光客の受入れ状況について

問 奥能登応援旅行割の結果を分析した今後の事業への取り組みは

答 奥能登応援旅行の予算配分は当町は他市町と比べ温泉や団体客が利用できる宿泊施設が少ないことが原因だと考える。今後は本町の観光資源である地の利を活かした体験事業や、食イベントとのタイアップ、小さな規模の個人客向け滞在型観光を推進し、地域全体のブランド力向上を図る。

キャッスル真名井周辺は国定公園に指定されており、自然の美しい景勝地として保護されている。

観光庁に承認された補助事業は奥能登2市2町の商工会と自治体が協同して行う。計画における当町の該当施設は1施設のみであるが、成果に繋がるよう、商工会と町が常に情報共有を行い、更なる高みを目指し、確固たる協力体制を確立する
(中瀬観光課長)

問 当町の誘客に繋がる六水町文化・スポーツ振興事業団の取り組みは

答 (一財)六水町文化・スポーツ振興事業団が指定管理を行っており、主な事業としては「宿泊施設活用による観光振興事業」と「文化活動事業」及び「スポーツ活動事業」である。ラベンダーホールや、宿泊棟などは利用されているが、野外キャンプ場は休止状態で利用されておらず、現在のふれあい文化センターの事業で観光誘客を期待するのは難しい状況だと考える。今後は、周辺のスポーツ施設・文化施設と共に特色を活かした研修施設としての誘致に最大限の努力をする
(中瀬観光課長)

野良猫問題について

問 野良猫問題に対し町が現在行っている対策を問う

答 野良猫の糞尿、悪臭、鳴き声の相談など年間3、4件の苦情が寄せられている。国が定める法律等に基づき、猫の飼い方などの指導や助言の役割を担う保健福祉センター職員に同行し飼い主などへ適正な飼い方の指導を行い、周辺の生活環境の改善に努めている。HPにも飼養について掲載

(荒木環境安全課長)

問 地域猫活動に対する見解を問う

答 地域合意のもと、住民が主体となって不妊去勢手術を施し、給餌・トイレを適正に管理し、地域全体で見守り、将来的に飼い主のいない猫をなくすことを目的にした活動と理解し、持続可能性が高い取り組みと考える

(荒木環境安全課長)

問 県内自治体別の不妊去勢費助成制度の実施状況を問う

答 県内19市町のうち12市町が助成を行い、1町で実施を検討。対象は、町内会や活動団体が主で、輪島市など9市町で個人に対しても行っている。助成額は、雄で4千～8千円、雌で5千円～11千円。今年度から5市町が実施

(荒木環境安全課長)

問 不妊去勢費助成制度に対する町の見解を問う

答 地域住民の合意のもと、地域猫活動に取り組めるよう助成制度を検討する

(荒木環境安全課長)

普通会計職員の定員適正化計画について

問 現在の普通会計職員数は

答 令和5年4月現在で97人

(北川総務課長)

問 増やすべき分野への職員配置の充足状況は

答 来年度の採用職員募集の状況は、一般行政職への応募はあったが、社会福祉士、情報技術職員、土木技術職員、埋蔵文化財専門調査員など専門職に応募は無く、必要な分野での採用確保が課題である

(北川総務課長)

問 現在の職員数と定員適正化計画とのギャップについての見解を問う

答 令和2年10月策定の穴水町定員適正化計画の目標値は、令和7年4月で105人と設定。令和5年4月で目標値104人に対し97人と下回っている。その要因は、高度成長期に採用した職員が大量に退職したこと、行政改革の推進により組織のスリム化が重要視され新規採用を控えたこと、技術職員の応募が少ないことなどが考えられる

(北川総務課長)

問 埋蔵文化財専門調査員の募集の必要性を問う

答 調査の必要な遺跡がありながら調査員が配置されていない自治体は本町だけであり、県より配置を強く求められている。一方で実際に調査に至った件数は、令和3年度で8件、4年度で1件、本年度では2件と需要が少ない現状である

(松尾教育委員会事務局長)

健康講座や健康診断の受診について

問 講座開催における町民への参加の広報手段と参加人数。来年度以降の対策を問う

答 「栄養改善教室」は、糖尿病対策や高血圧対策を目的に開催。教室の周知は町広報や、特に注意が必要な方へは、職員が直接声を行った。参加者は、糖尿病対策で6人、高血圧対策で9人。「介護・フレイル予防をテーマとした栄養講座」では、本年度4地区延べ12回の開催を予定。1回当たりの参加者は、9人程。講座に参加しやすい環境づくりと周知手段を更に検討し、来年度以降も継続して行う

(谷口子育て健康課長)

問 町の健康寿命が短いことの原因究明と課題を問う

答 生活習慣病の重症化により死亡、要介護状態になる例が多いことが原因で、健診受診率向上、運動不足の解消、食生活の改善が課題解決に繋がると考える

(谷口子育て健康課長)

問 健康診断の受診、運動習慣、食習慣の課題を解決するための現状の分析と、今後の取り組みを問う

答 受けやすい健診、参加しやすい健康事業に取り組むため、未来づくり会議での提言等を反映し、課内で検討を重ね来年度以降の保健事業に繋げる。また、保健師・栄養士が対象となった方に寄り添い引き続き丁寧な対応をしていく

(谷口子育て健康課長)



健康診断の受診、運動習慣、食習慣の課題を解決するため今後の取り組みについて

谷口子育て健康課長 未来づくり会議での提言等を反映し次年度以降に繋げる

大中 正司 議員

一般質問

9月定例会

穴水港の高潮対策を強く望む

金谷地域整備課長 県に対し早急な対応を働きかけていく



小谷 政一 議員

穴水港の高潮対策及び港湾道路の歩道整備について

問 穴水港高潮対策協議会の再設置と被害防止に取り組む必要があるのではないか

答 平成22年度に穴水港を管理する奥能登土木総合事務所を中心に町、奥能登広域圏、地元住民代表、北鉄奥能登バス（株）、北伸運輸穴水営業所が参加し協議会を開催。臨港道路の嵩上げや防潮壁整備等を行い一定の効果があったが、近年の自然環境の変化により再度高潮被害が発生している。協議会開催に向け県と調整する
(金谷地域整備課長)



問 港湾道路の歩道バリアフリー化整備を強く望む

答 現地を調査し、老朽化している歩車道境界ブロックの補修等と併せ、県に対し早急な対応を働きかけていく
(金谷地域整備課長)



地方創生SDGs未来都市への取り組みについて

問 「地方創生SDGs未来都市」への取り組みを検討しているか問う

答 現在は、実施していない。これまで進めてきた施策や事業の中にも、その理念に基づくものは多くあると考えている。他市町の取り組み状況を見ながら、必要と判断した場合には適時進めて行く考え
(吉村町長)



建設業協会へ稲作等の委託発注について

問 国道や県道沿線の景観保全や、従業員の確保を図るため建設業協会へ稲作等の委託発注を行うことはできないか

答 昨今の建設業界を取り巻く環境は厳しく建設事業全体に影響が出かねない状況にあると聞いている。また、公共事業による地域経済の循環及び活性化に及ぼす影響は大きいと認識しており、委託については、耕作者の意向と建設業協会等を含めた受け手側の意向や参入地域の調査を踏まえ異業種が農業参入しやすい環境整備が必要と考える
(金谷地域整備課長)





宮本 浩司 議員

金谷地域整備課長

旧穴水公民館及び図書館跡地を 使用する際の対応は

防災拠点として整備を行い 条例や規則等の制定を進める

旧穴水公民館及び
図書館跡地について

問 防災広場とは「旧穴水公民館及び図書館跡地」を指すのか。整備目的と正式施設名がない理由は

答 平成19年に発生した能登半島地震からの復旧・復興の指針として「穴水町復興まちづくり計画」が策定され、平成22年に「さわやか交流館フルート」が整備された。翌年度、倒壊の恐れのある旧穴水公民館を取り壊し、その跡地に一時避難場所としての防災広場が平成24年度に完成した。その経緯からも、防災広場として認識し、平時には町民の憩いの場として利用されている。「財産に関する調査」には、古い名称のまま記載されており、「穴水町防災広場」と修正する
(金谷地域整備課長)



問 ③この土地を使用する際の対応は

答 防災拠点として整備を行った。設置目的や趣旨を町民に周知する必要があることから行為の制限や使用の許可・使用料などを定める条例や規則等の制定を進める
(金谷地域整備課長)



(二財) 穴水町文化・
スポーツ振興事業団について

問 事業団の存在意義と果たす役割をどう捉えているか

答 文化センターでは、町民の芸術文化活動や町外からの観光や交流の促進を担う場として、当初は旅館さながらの運営を行っている。能登半島地震からの需要の低迷に加え、町の財政悪化の影響を受け補助金の削減、人員の整理に加え、類似施設であるキャッスル真名井との競合を避けるため事業の縮小を行った経緯がある。今後の文化センター全体の運営方針や管理体制、更には財団法人の在り方や組織体制を含め、抜本的に考える時期にあると感じる。広く町民の意見を聞き施設の活用について議論したい
(吉村町長)

問 上半期における事業実施状況と下半期における事業実施予定を問う

答 上半期にはスポーツに関する事業では、7月に3人制バスケットボール大会を昨年に引き続き実施。文化活動では、歴史民俗資料館において「天正10年戦国の能登の世界」と銘打ち、長連龍が織田信長や前田利家と交わした書状の特別展示を行った。下半期には例年開催しているお茶会、文化センターと能登長寿大仏を結ぶ新たなウォーキングコースの設置に取り組む他、町の歴史を振り返る写真展、子育て健康課と連携した足腰げんき教室を予定している。来年度以降も各施設の利用回復を図るため町内外への広報活動に力を入れる
(松尾教育委員会事務局長)



